

3類型	鉋工業品又は鉋工業の生産に係る技術	通巻番号	2-19-029
地域資源名	鶴岡シルク	認定日	平成20年2月15日
地域	山形県鶴岡市	所管省庁	経済産業省

**事業名：製糸工程から産出されるキビソを活用した新素材開発及び、国内唯一の地域内一貫生産による高付加価値型シルク製品の開発**

会社名：鶴岡織物工業協同組合

所在地：山形県鶴岡市末広町5番22-201号

連絡先：TEL：0235-22-0507

### 事業概要(新たな活用の視点)

・製糸工程から産出される副産物であるキビソに着目し、従来のアパレル市場だけでなく、インテリア雑貨市場向けに新市場開拓を視野に入れた新素材開発・用途開発を行う。

※キビソ・・・製糸工程において、繰糸の際、繭から糸口を見出すためすぐりとった緒糸(ちよし)を乾燥したものの。



【緒糸(ちよし)】

### 売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

#### ◆競争力

・製糸工程から製織、精練、捺染というすべての絹織物工程を一地域内に有する産地であり、独自素材の開発に当たっても、地域一貫生産の強みから量産が可能である。

#### ◆市場性

・キビソはシルクの持つ抗菌性、高難燃性、UVカット、吸湿性その他絹の特性をすべて有している素材であり、今までにない風合いを持っている。  
・低価格志向とは別の高品質・高付加価値製品市場が存在し、オリジナリティを付加した素材の要望は強く、デザイナーと産地が連携を図り素材開発が可能である。

#### ◆販路

・世界的なテキスタイルデザイナーから高評価を受けており、独特の風合いを活かした新たな素材としてデザイン界への販路開拓を狙う。



【キビソ】



【開発新素材】

### 地域資源における関係事業者との連携

・原材料から製品化まで地域内で一貫生産を行うため、最終製品の試作にあたっては、地域内の企業等と連携を図りながら実施し、国内のシルク産業の振興も図る。